



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

# 鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成27年4月 7日(火) 第2711回例会 (本年度第33回)

4月14日(火)	振替休会(会津若松南RC45周年記念式典 4/18(土))
4月21日(火)	会員スピーチ 榎本政規鶴岡市長
4月26日(日)	鹿児島西RC・鶴岡RC兄弟クラブ締結50周年記念式典
4月28日(火)	会員スピーチ 真島吉也君「認知症について」



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

## 会長あいさつ 丸山隆志君

本日は丸山会長が欠席ですので、私加藤が代理を務めさせていただきます。

何もありませんという訳にもいきませんので、私事ではありますが、次男が福島の大学に合格しました。合格が決まれば住むところが必要ということで、アパート探しを始めることになりました。ところが震災の影響で学生のアパート探しは大変だということが分かりました。震災から4年たっても住居の復興が進んでいないのです。学生のアパート需要を満たすことが出来ない実情がありました。公務員の転出で空きを待っている人がたくさんいます。空きがあって入居できるのが4月10日頃だったので、その間はホテルに仮住まいということになりました。被災地では、被災者だけではなく、外部からくる人たちも大変なんだと思いました。ロータリークラブでも被災地復興支援活動をしていますし、私もこれから福島に送金が続きますので、少しでも復興のお役にたてるのではないかと思います。



## 幹事報告 菅原成規君

- ガバナー事務所  
2014-2015 年度「RI 会長賞」申請書式ご提出のお願い  
締切：4月6日(月)
- ガバナーエレクト事務所  
地区研修・協議会のご案内  
日時：4月18日(土) 登録 10:00~  
会場：伝国の杜・臨泉閣  
登録料：3,000円

出席報告	会員数	36名
	出席	22名
	出席率	64.71%
	前々回確定出席率	58.82%

- 立川ロータリークラブ  
立川ロータリークラブ  
創立40周年記念式典のご案内  
日時：6月21日(日) 登録 13:20~  
会場：グラウンド・エルサン  
登録料：10,000円
- 白鷹ロータリークラブ  
白鷹ロータリークラブ  
創立50周年記念式典のご案内  
日時：5月30日(日) 登録 12:15~  
会場：パレス松風コンベンションホール  
登録料：10,000円

## 私のライフワーク 短期入所施設草笛の家代表 天野俊秀氏

山に籠っておりまして、久しぶりにこのような華々しい所に出てきてしまい戸惑っています。私は昭和57年、四国、徳島から庄内に家族で移住してきました。自閉症の人たちの指導と施設づくりの依頼をされたのがきっかけです。



当時自閉症というのは発症の原因も分らず、援助の方法も混んとしてしていました。私が鶴岡で始めた小規模作業所というのは、全国初の年長自閉症児施設でした。その一年前に、全国自閉症親の会が三重県の日市市に「あさけ学園」という入所施設をつくりました。私どもの施設開所のちょうど1年前です。自閉症に関しては私は不勉強で、この「あさけ学園」の門をたたきました。ところが断られました。開所を1年後に控えていたので押しかけていきました。その時断った理由を教務主任がこういいました。「我々が教えてほしいくらいだから」と。それじゃ

■RI会長 ゲイリーC.K.ホアン ■地区ガバナー 池田徳博

■会長/丸山隆志 ■副会長/加藤 亨 ■幹事/菅原成規 ■会長エレクト/越智茂昭  
■会報委員会/佐藤久樹・阿部純次・小林健郎・石田 雄

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

一緒にやりましょうということで私の研修が始まりました。

この施設には全国から重度の人たちが集まってきていました。すさまじい光景を目の当たりにして、どう援助したらいいのか茫然自失したというのが本当のところ。参考事例もないなか、手探り状態が続きました。安請け合いを後悔して、正直飛んで逃げ帰りたいという思いがありましたが、私を招聘した自閉症の子を持つ親の期待があまりにも大きいものですから、その期待を無碍にできないと、どうにか踏みとどまれたという気がします。

私の顔と取組んだ施設が珍しかったのか、新聞、テレビなどでもてはやされて鶴岡で一躍有名人になりました。責任の半分は私にあって、調子に乗ってインタビューを受けるたびに、自閉症とはこんな障害ですから、私はこう指導したいと思っていますというどこかで調べたような知識を吹聴していました。大風呂敷を広げていい加減な放談をしていたのです。

その時出会ったのが仙台で情緒障害児の短期治療施設を運営されていた大坂誠先生です。先生はヒューマンズムの塊のような方です。あるパーティの席上で紹介され、私は調子に乗っていろいろ話していました。そしたら先生の顔がだんだん曇ってきて「馬鹿野郎、お前のような奴は子供から教えてもらえ！」と大勢の前で罵倒されました。

私は大変ショックを受けました。大坂先生は、私が自信がなく言葉だけだということを見透かしたんだと思います。あの時は冷や水を浴びた思いがしました。

その夜から悩み始めました。自分は何をしようとしていたのか。親御さんから言われたのはこの子達に仕事を教えて欲しいということでした。自閉症の子は人との関わりが苦手で、よくパニックを起こします。このような子どもたちに作業を教えられるのかと考えていました。人は誰でも悔いのない人生を送る権利がある。この子達にだってこの子なりのライフスタイルがある、そのための援助をする、そう考えていました。そう考えると厳しいものがありました。私は何もわかっていなかったのです。

もう一度原点に戻って私は毎日子供たちの行動観察を始めました。一人、一日、一ページを目標にしました。その子の行動、表情を場面ごとに記録していきました。あの子があの表情をするのはどんな場面かというのを記録していくと色々なことに気づかされました。特に人との関わりが苦手なコミュニケーションが難しいと思っていた子どもたちが実は私の表情や態度をよく見ているということでした。私自身が彼らを心から受け入れれば、彼らも少しずつですが信頼してくれると気づかされました。

そうして立ち上げたのが「創造の森」です。平成2年には「草笛の家」をつくり、重度と言われる子供4人を引き受け、一緒に暮らしました。重い自閉症の人は施設に行き、地域では一緒に暮らせない

と思われていましたから、地域の方からは「大丈夫なのか？」と心配されました。家族にも大変苦勞を掛けました。子どもたちも無事育ってくれました。

大坂誠先生との出会いの後、「エイブルアート」というものに出会いました。奈良県にたんぼぼの家というぶどうの袋詰めをしている作業所があります。そこから始まったものです。障がい者の持っている潜在的な感性を芸術家が引き出し、芸術性の優れた作品を作り出そうというものです。養護学校で名前も書けなかった子が、ある書家と出会って素晴らしい書を書いています。縄文時代の人の作ったものは現代人には作れません。彼らの作品は縄文人と通じるような気がしてなりません。エイブルアートはこの子供たちのライフステージを応援する仕組みだと考えています。

私も今年高齢者の仲間に入りました。今からどれだけできるかわかりませんが山の中で頑張っていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

## 委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

短期入所施設草笛の家代表 天野 俊秀 氏

◆メイクされた方

青柳孝治君・菅原成規君・武田啓之君

スマイル 😊

加藤 亨君 次男が何とか大学合格しました。

菅原成規君 次年度理事会、欠席してすみませんでした。



東京東江戸川RC 観桜会・交流会 (3/28)

丸山会長、越智エレクト、富樫君、小林君、阿部君の5名が参加、親睦を深めて参りました。



東京スカイツリーをバックに！